

第1回八代市景観まちづくり会議

ニュース vol.1

夏の暑さが和らぎ、秋の訪れを感じるようになってきた9月5日(火)、やつしろハーモニーホールで「第1回八代市景観まちづくり会議」が開催されました。

会議には、八代市内の各地域、各団体から51名の方々にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

テーマを『暮らしの中の“お宝景観”をあぶりだそう!』と題して、『自然・みどり』、『生活・まち』、『歴史・文化』の重点テーマごとに6つの班に分かれて、皆さんが大事に思っている景観を挙げていただきました。

どれも八代の宝となる景観であり、私たちが住んでいる八代には、まだまだ私たちの知らない多種多様なお宝景観がたくさんあることをあらためて知ることができました。

プログラム

- 19:00 1. 開会・あいさつ
- 19:05 2. 会議の目的・位置づけ
- 19:10 3. 景観のとらえ方
- 19:20 4. グループ分け&自己紹介
- 19:30 5. “お宝景観”をあぶりだそう!
(景観テーマ別)
- 20:40 6. 発表・まとめ
- 20:55 7. 閉会・あいさつ



テーマ：暮らしの中の“お宝景観”をあぶりだそう!

～重点テーマ・ポイントの絞り込みとまち歩き候補地の検討～

場 所： やつしろハーモニーホール3F 大会議室

▼ 八代市景観計画策定の流れ



▼ ワークショップの様子



💡 お宝景観とは・・・

八代市景観まちづくり会議では、『雄大な河川と夕日、干拓地、棚田、八代城跡・妙見宮をはじめとする歴史文化遺産』や『日常生活の中にある小径(フットパス※)からの眺め』など、他の人に誇りたい場所や誇れるように磨きをかけていきたい場所をお宝景観と位置づけます。



※「フットパス」とはイギリスを発祥とする“森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小道(こみち)【Path】”のことです。

💡 八代の景観を考える

生活者の視点から、八代のお宝景観をあぶりだしていただくため、まず参加者の皆さんと『景観とは何か？』『お宝景観とは何か？』など『景観のとらえ方』について学習しました。

グループワークでは、重点テーマ『自然・みどり』、『生活・まち』、『歴史・文化』ごとに、各2班の合計6班で、お宝景観や気になっている景観について話し合いました。景観に対する考え方も人それぞれで、八代の良い景観を守り育てるだけでなく、気になる景観を改善することや良い景観をアピールすることも必要との意見がありました。

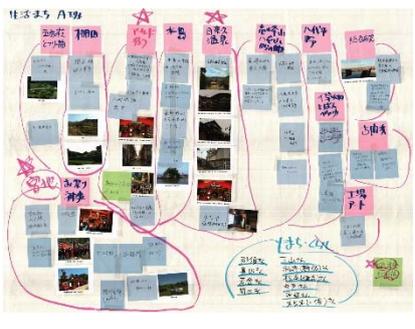
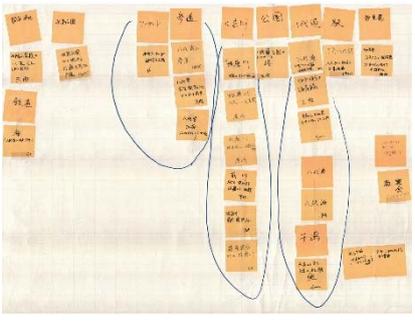
テーマを超えて多くの人共感したことから、「知る人ぞ知る」穴場スポットまで、八代ならではのお宝景観を再発見することができました。日常生活の一部となっていて価値に気づきにくい景観も、その価値を再発見し、大切にしていける必要があります。

次回のまち歩きでは、今回挙げられたお宝景観や気になる景観について、実際に現地を見て再確認します。

■各班の成果

	お宝景観・気になる景観	良い景観・自慢したい景観	発表の様子
自然・みどりA班		<ul style="list-style-type: none"> ・流藻(りゅうそう)川 ・八代外港から見る夕日 ・干拓地、棚田 ・東陽から泉の道沿いの“茶畑” ・龍峯山から見たイ草畑 ・氷川ダム管理所の桜 ・五家荘の紅葉狩り、青葉狩り ・遥拝堰 ・山も川も平野も海も全てある所 ・立神峡の岩山 	
自然・みどりB班		<p>【ベスト3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1位:水島 2位:泉地区 2位:東陽の石橋群 ・球磨川下流 ・東陽の生姜畑 ・日光(にちこう)の棚田 ・龍峯山から眺める夕暮れ ・白髪岳天然橋 ・球磨川第一橋梁 	

■各班の成果

	お宝景観・気になる景観	良い景観・自慢したい景観	発表の様子
生活・まちA班		<ul style="list-style-type: none"> ・金剛橋から見る水島(夕日) ・八代のシンボル 龍峯山から見る風景 ・イ草畑 ・本町アーケード(夜市) ・日奈久温泉街 ・総合病院からみる市街地 ・妙見祭 	
生活・まちB班		<ul style="list-style-type: none"> ・八代海 ・水島公園 ・球磨川 ・八代宮の参道 ・本町アーケード ・蛇籠(じゃかご)公園の桜 ・妙見祭 	
歴史・文化A班		<ul style="list-style-type: none"> ・妙見宮と周辺の文化財 ・八代城跡と城下町 ・平家伝説と五家荘 ・水島、干潟 ・蛇籠(じゃかご)の船着場 ・日奈久温泉神社 ・坂本の歴史文化遺産 ・東陽町石橋群 ・植柳(うやなぎ)小学校 	
歴史・文化B班		<ul style="list-style-type: none"> ・妙見宮(八代神社) ・春光寺の桜、紅葉 ・八代城跡(堀、石垣) ・水島の夕日 ・鏡の赤星公園 ・遥拝神社の桜 ・平山城跡 ・奈良木神社 ・古麓稻荷神社 ・松浜軒 	

熊本県立大学 柴田祐教授からのアドバイス

皆さんの発表を聞くと、桜や夕日などが良いという意見が多かったですね。季節や時間帯によって変わるところが、景観の重要なポイントです。妙見宮、アーケード商店街、干拓地などは、どの班でも共通の話題として挙げられていました。そここそが景観です。景観はひとつの分野ではなく、横断的なもので、いろんな部署や市民が関わることが大切だという観点を持ってほしいと思います。



第2回八代市景観まちづくり会議
のお知らせ
平成29年10月14日(土)
9:00~12:15
やつしろハーモニーホール3F大会議室B
内容:まち歩き・ワークショップ